

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

4S モデルに基づく事業活動を通じて社会の持続的な発展にJTグループとして貢献
 ※4S モデルとは一お客様を中心として株主、従業員、社会の4社に対する責任を高い次元でバランスよく果たし4者の満足度を高めていく

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地域社会への貢献 包摂的かつ持続可能な地域社会の発展を目指し、従業員がボランティア活動に従事する	ボランティア活動(1回/年)従業員 従事割合 2023年131%→2026年100%
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	廃棄物 ・事業や製品由来の廃棄物	廃棄物発生量 2026年20%減(2023年比) ※2023年:3197kg
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	サプライヤー審査 環境、社会、ガバナンスの項目で審査	確約書(環境、社会、ガバナンス項目 審査)取得取引業者率 2023年98%→2026年100%

<パートナーシップ>

- ・関係団体と連携し、20歳未満喫煙防止のための対策/活動を実施。
- ・自治体、ボランティア、各催事の実行委員会やJR様等の協働団体など、さまざまな方々と協働し、市民参加型の清掃活動を実施。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・地域社会への貢献 包摂的かつ持続可能な地域社会の発展を目指し、従業員がボランティア活動に従事する → ひろえば街が好きな運動主催や湯前町での森林保全活動を行い、目標は達成できた。	従業員の50%が年2回ボランティア活動に従事する	2023年実績 ひろ街:計2回、7人 森林:計2回、27人 ⇒計34人(131%)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・水資源・廃棄物 事業活動由来の水使用量 →組織変更、支社移転があったため、目標は未達だった。	(2015年比) 水使用量 15%減 廃棄物発生量 20%減	2023年実績 ・水:テナントのため実績なし ・廃棄:3197kg ※2022年:3313kg
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・サプライヤー審査 (反社会勢力との関わり断絶等)ー環境、社会、ガバナンスの項目で審査 →組織変更による業務輻輳により、精査までは完了できなかったが、目標は未達だった。	社内基準をクリアした企業との経済活動	2023年末時点では精査まで、2024年以降に全取引業者より確約書を取得予定。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。